

安足地域水稲技術情報 No.1

令和4(2022)年5月23日

安足農業振興事務所

作業の重要ポイント

- ① 種子や床土の消毒をしっかりと行いましょう！
- ② 浸種・催芽・育苗時は温度管理に注意しましょう！

1 今後の気象

| 気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) | | | |
|------------------------|--------|-----------------------|--|
| 気温 | 関東甲信地方 | 向こう1か月 05/21~06/20 | |
| | | 1週目 05/21~05/27 | |
| | | 2週目 05/28~06/03 | |
| | | 3~4週目 06/04~06/17 | |
| 降水量 | 関東甲信地方 | 向こう1か月 05/21~06/20 | |
| 日照時間 | 関東甲信地方 | 向こう1か月 05/21~06/20 | |

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

気象庁の1ヶ月予報(5月19日発表)によると、向こう1ヶ月の平均気温は平年並または高い、降水量は平年並または多い、日照時間は平年並または少ないという予想が出されています。

昔から「苗半作」と言われるとおり、良い苗ができるか否かは稲作全体の成否に非常に大きな影響を及ぼします。健苗育成に努めましょう！

2 作業のポイント

(1) 種子消毒を徹底し、病害の発生を予防！

良質米生産のため、採種ほ産の種子を3~3.5kg/10a準備しましょう。

未消毒種子は必ず種子消毒を行いましょう。

表 主な種子消毒剤

| 農薬名 | 希釈濃度 | 使用方法 | 適用病害 |
|------------------|------|--------------|--|
| テクリード C フロアブル | 200倍 | 24時間 種子浸漬 | もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、 ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病、 苗立枯病(リゾープラス菌)、苗立枯病(トリコゲル菌) |

注)登録内容は、令和4年(2022)年5月17日時点

(2) 浸種は積算温度を十分に確保【水温×日数=積算温度 120℃が目安】！

粃に十分に吸水させるため、粃容量の2倍の水に浸漬しましょう。

水温が上がりすぎないように日光が直接当たらない場所(日陰等)で行います。

酸素不足を防ぐために、2日に1回は水の交換をしましょう。

浸漬期間の後半になったら必ず粃を確認し、芽が動いていたら浸種を終えましょう。

表 積算温度の目安

| 消毒種子の種類 | 積算温度 |
|---------|---------------------------|
| 消毒種子 | : 120~130℃ |
| 未消毒種子 | : (1) の種子消毒を行った後 100~120℃ |

積算温度の計算例 : 水温 20℃×6 日=120℃



高温で水温が高くなり、想定よりも早く芽が動き出す事があります。

芽が動き出すことが早まっても、その後の作業ができるよう前もって準備を進めておきましょう。

(3) 芽が伸びすぎないようにこまめにチェック！

催芽を揃えるため、1日2~3回種子袋を反転させましょう。

催芽の水温は28℃とし、18~20時間で均一に催芽させましょう。

均一に播種するため、粃が手に付かない程度にまで陰干しを行い、種粃の水切り(脱水)は十分に行いましょう。



【催芽の目安】
ハト胸~2mm
(写真白丸)まで

(4) 適正な苗立ち数確保のため、播種量の調節を！

播種量は、乾燥粃で130g以下(催芽粃で170g以下)/箱として、均一に播種しましょう。厚播は、ムレ苗や徒長苗などの原因となります。

表 苗の種類毎の播種量並びに必要な箱数

| 苗の種類 | 葉齢(枚) | 草丈(cm) | 播種量(g/箱) | 育苗日数 | 箱数(箱/10a) |
|------|---------|--------|----------|------|-----------|
| 稚苗 | 2.2~2.5 | 12~13 | 乾粃 130 | 20 | 20~23 |
| | | | 催芽粃 170 | | |
| 半中苗 | 3.1 | 13~15 | 乾粃 100 | 25 | 24~30 |
| | | | 催芽粃 130 | | |
| 中苗 | 4.1 | 15~18 | 乾粃 100 | 30 | 24~30 |
| | | | 催芽粃 130 | | |

(5) 床土消毒剤の使用を忘れない！

苗立枯病の発生を予防するために、床土には必ず予防剤を混合しましょう。

人工培土で（加熱乾燥）消毒済と書かれていても熱処理されているだけです。必ず床土消毒剤を使用しましょう。

表 苗立枯病に登録のある主な薬剤

| 処理時期 | 薬剤名 | 希釈倍率 | 1箱当たり散布量 | 適用病害虫 |
|---------|--------------|------------|----------|-----------------------------|
| 播種時にかん注 | タチガレエース M 液剤 | 500～1000 倍 | 500mL | ピシウム菌 フザリウム菌 |
| | ダコニール 1000 | 500～1000 倍 | 500mL | リゾープス菌 |
| | ダコレート水和剤 | 400～600 倍 | 500mL | リゾープス菌 トリコデルマ菌 フザリウム菌 |

注)登録内容は、令和4年(2022)年5月17日時点

(6) 育苗期間中の温度管理はしっかり行いましょう！

高温管理は、苗立枯病の発生要因となります。温度管理は 18～25℃（30℃以上にしない）、夜間 10℃（育苗中期～後期では夜間 5～7℃以上）を参考に管理しましょう。

(7) かん水はやり過ぎず、足らなすぎず！

かん水は 1 日 1 回朝に行いましょう。

緑化期：極度に乾燥した時以外はかん水を控え、初期の徒長を防ぎましょう。

硬化期：床土の乾き具合、苗の生育状況を見て、控えめのかん水に努めましょう。

【かん水を控える場合】

晴れた日の日中や夕方：地温を下げ根張りを悪くし、徒長苗の原因となる

低温や雨天の日：床土が過湿状態になり、苗立枯病の発生を助長する

農薬を使用するときは、ラベルをよく読み使用方法をきちんと守りましょう

4月～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。

乗用型トラクターの事故が最も多く発生しています！以下のことを心がけましょう。



- ・安全キャブ・フレームのある機種を使用する
- ・シートベルトとヘルメットを着用する
- ・ほ場を出る際は、ブレーキの連結ロックを確認する
- ・日没前の作業終了と、一般道走行に備え反射材を装着、点検する

問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431
振興事務所ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>